

## ■駅南口が最適な理由

- 立地性に優れ、気軽に利用できる。
- 公共交通が充実しており、アクセス性に優れている。
- 土地区画整理事業と合わせて整備することで、地域の発展が期待できる。
- 証明等自動交付機などのサービス機能を備えることで、町外通勤者の利便性も向上する。

## ◆法的な考え方も考慮

地方自治法第4条第2項では、「事務所の位置を定め又はこれを変更するに当たっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。」とされています。

この趣旨を十分踏まえ検討を重ねた結果、町では新庁舎の候補地を「海田市駅南口」と定めました。

## 【参考】

### 海田市駅南口土地区画整理事業の概要

施 行 者：海田町

施行面積：約2.0ha

事業期間：H20年度～H25年度

事業費：約10億円

事業目的：広島都市圏東部の拠点として、また海田町の玄関口としてふさわしいにぎわいと風格のあるまちづくりを進めるため、駅前広場や道路等の整備、宅地の利用増進を図ります。

進捗状況：現在、仮換地素案を作成し、地権者の方々と協議・調整しているところです。

## ■仮庁舎について

町としては、平成23年11月以降空き施設となった県海田庁舎を仮庁舎として検討し、県知事とのトップ会談の結果、借り受けることで話がまとまりました。

仮庁舎に入居する前に最低限の改修が必要であることから、平成23年12月議会に設計業務の補正予算案を提出しましたが、議会において削除されました。そのため、現在、仮庁舎の移転先に全くめどが立っていない状況となっています。

|          |                                                                |
|----------|----------------------------------------------------------------|
| 仮庁舎の施設概要 |                                                                |
| 建物構造     | 鉄筋コンクリート4階建                                                    |
| 建築年次     | 昭和46年                                                          |
| 敷地面積     | 3,706.21㎡                                                      |
| 延床面積     | 3,758.34㎡<br>(本館 3,393.30㎡、<br>自動車庫 291.60㎡、<br>自転車置場外 73.44㎡) |
| 駐車場台数    | 57台                                                            |

藤会館（水道課、下水道課）、保健センター  
○賃貸借予定期間：平成24年8月から平成27年12月末まで

## ■県海田庁舎

現在の県海田庁舎は、老朽化しており、耐震化されていません。そのため、仮庁舎のように一時的な利用ではなく、新庁舎としてそのまま永続的に利用することは困難です。仮に改修工事や耐震化工事を行っても、新築に近いくらいの多額の工事費を要します。

また、建て替えの有無にかかわらず、駅南口よりかなり広い県海田庁舎の土地すべてを買い取る必要があります。

なお、現計画（案）と同じ機能を導入した場合の概算事業費は、約26億円になるものと考えています。

## ■町議会の対応

○平成21年12月9日  
：「町営プール跡地」を役場庁舎移転・建設地として決定し、早急に事務手続きを進めるよう強く求める旨の決議可決（賛成11、反対3）

○平成23年12月6日  
：「県海田庁舎」を役場庁舎移転・建設用地として決定し、早急に手続きするよう強く求める旨の決議可決（賛成11、反対3）

町議会では、これまで庁舎建設特別委員会においてほとんど検討されていない、「県海田庁舎」を突如、新庁舎の位置とするよう、平成23年12月議会で決議しました。しかしながら、「県海田庁舎」が、これまで議会が主張してきた「町営プール跡地」よりもどのように優れているのかという具体的な説明は残念ながらありませんでした。

町としては、先の町長選挙の結果を踏まえ、民意を尊重し、これまでどおり駅南口到新庁舎を建設する方針としています。

## ■新庁舎を中心としたまちづくりイメージ

### ＝海田の未来づくり＝

子育て  
しやすく人が  
輝くまち

環境を  
大切にする  
まち

個性と  
活力のある  
まち

支え合いと  
協働のまち

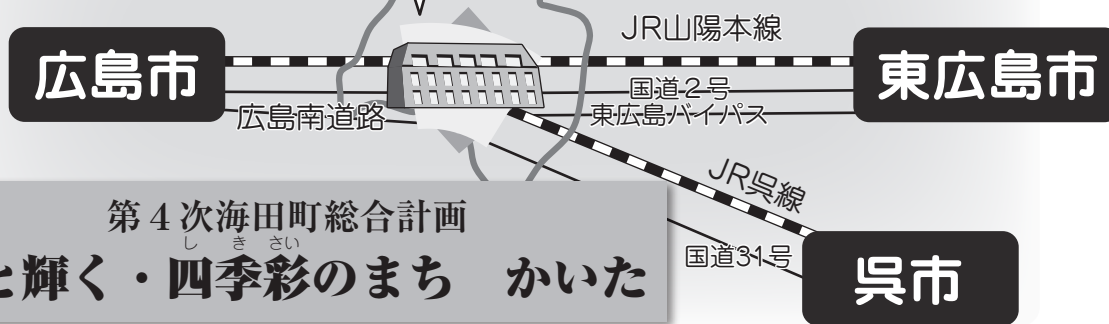
～住んでよかった。  
これからも住み続けたいまち “海田”～

庁舎機能に  
にぎわいの拠点  
(シンボル)を

### JR海田市駅

- 山陽本線の快速列車全便停車
  - 平成24年3月より、呉線の快速列車「安芸路ライナー」も停車
- 公共交通の拠点機能が高まり、駅前の活性化が見込まれる。

商工業の  
振興による  
地域の発展を



第4次海田町総合計画  
ひと輝く・四季彩のまち かいだ

山・川・海  
自然に恵まれた  
環境

- ☆広島市・東広島市・呉市通勤圏内
- ☆病児・病後児保育
- ☆3世代が交流
- ☆バス路線の充実
- ☆交通の要所
- ☆文化・歴史の中心

近隣市町との  
連動

★活性化を図っている  
市町の現状  
→多様な交通機能を  
生かしている。  
JRの表裏  
JRと庁舎・支所  
JRと商業・経済圏

行政が先導し、町に渦を、  
呼び水をつくる

幼児・高齢者・障がい者等の  
ニーズに応じた場所づくり

## ■スケジュール

現在のところ平成25年3月末までに現庁舎を移転・解体し、平成28年1月から新庁舎を開庁する予定としています。

なお、仮庁舎には、平成24年12月29日から平成25年1月3日までの間に移転する予定です。

### 移転までのスケジュール

|     | 平成24年度          | 平成25年度   | 平成26年度  | 平成27年度   |
|-----|-----------------|----------|---------|----------|
| 新庁舎 | 現庁舎<br>移転<br>解体 | 設計       | 発注・建設工事 | 新庁舎移転・開庁 |
| 仮庁舎 | 改修<br>工事        | 仮庁舎移転、開庁 |         |          |